

富士駅北口駅前公益施設の  
基本設計概要について

富士市 市街地整備課



原田真宏（はらだまさひろ）

MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 主宰建築家



原田麻魚（はらだまお）

MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 主宰建築家

#### —原田真宏 経歴

1973年 静岡県生まれ 1997年 芝浦工業大学大学院建設工学専攻修了  
1997-2000年 隈研吾建築都市設計事務所 2001-2002年 文化庁芸術家海外派遣研修制度(J.A.M.LAPENA & ELIAS TORRES Architects) 2003年 磯崎新アトリエ  
2004年 原田麻魚と共に MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 設立  
2008年 芝浦工業大学 准教授。2016年- 芝浦工業大学 教授

#### —原田麻魚 経歴

1976年 神奈川県生まれ。1999年 芝浦工業大学建築学科卒業  
2000年 建築都市ワークショップ  
2004年 原田真宏と共に MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 設立  
2013-2014年 東北大学工学部 非常勤講師 2019-2021年 東京大学工学部 非常勤講師  
2022年- 東京理科大学工学研究科建築学専攻 非常勤講師 2022年- 早稲田大学建築学科 非常勤講師  
2023年- 名古屋工業大学 非常勤講師 2023年- 東京大学農学部 非常勤講師

#### —MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO

建築デザインを中心としながら、東北震災の復興都市計画や、伝統技術を生かしたプロダクトデザインまでスケール横断的なデザイン活動を繰り広げている。その豊かなビジョンと共に建築的「質」の高さに定評があり、ほぼ全ての作品が国内外の賞を受賞するなど、世界的な高い評価を受けている。

#### —代表作

〈XXXX〉、〈m3/Kg〉、〈Tree house〉、〈海辺の家〉、〈Seto〉、〈知立アフタースクール〉、  
〈道の駅ましこ〉、〈Entô〉、〈STROOG 社屋〉など

#### —受賞歴

SD Review 鹿島賞(2003)、AR Awards(2008,2009,2011,2015)、LEAF AWARDS(2011,2015)、  
JIA 新人賞(2015)、ACA 賞(2015,2021,2022) 芦原義信賞(2015)、日本建築学会作品選奨(2017,2018)、  
JIA 日本建築大賞(2018)、BCS 賞(2018,2021)、日本建築学会賞(作品)(2020)、ACA 賞 優秀賞(2021)、  
JIA 優秀建築選(2022)、第14回 JIA 中国建築大賞 2022 大賞(2023)、JIA 優秀建築賞(2023)ほか

## 1 基本設計の概要

設計者：(株)アール・アイ・エー、

(株)マウントフジアーキテクトスタジオ設計共同企業体

設計期間：令和5年7月～令和6年7月

## 2 設計基本方針（設計コンセプト）

「富士山のまち」「紙のまち」にふさわしいシンボル  
～にぎわいが積層し、街へと溢れ出す、市民の活動拠点～

- ・富士市の新しい顔として、世界的に有名な富嶽三十六景で描かれているような、軽やかな紙のような建築形式を計画しました。
- ・日常の中で、いつでも、ふらっと、行きたいときに訪れることができ、そこに行けば新しい発見や出会いがあり、さらには、その賑わいを街全体にも波及できるような場所としたい。これからの富士市の未来をつくる賑わいの拠点施設を実現させる計画としました。



■ 富嶽三十六景「駿州江尻」：駿河半紙が風に舞う風景が描かれています。

### 3 平面計画

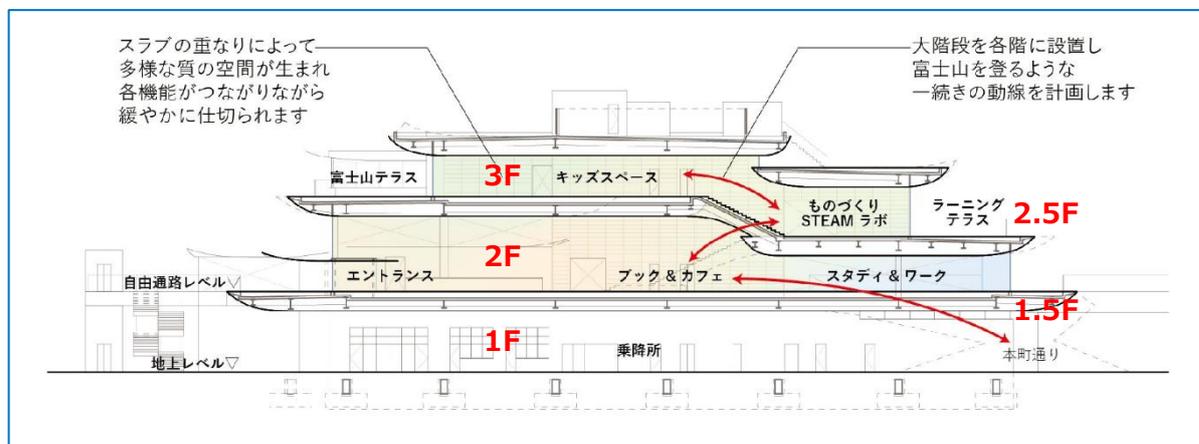
#### 壁の少ないフレキシブルでつながりを生むフロア計画

- ・各フロアは余分な壁のないフレキシブルな空間となります。
- ・各フロアは施設内の紙のような軽やかな大階段によって繋がり、年中行われる多様な講座・イベントに対応できる空間となります。

### 4 断面計画

#### 空間を分けつつ、吹き抜けを介して気配が連続する「スキップフロア形式」

- ・床の高さを半階ずつずらして、吹き抜けをつくりながら積層させる「スキップフロア形式」を採用します。
- ・スキップフロアは視線や動線につながりが生まれ、立体的でありながら一体感のある空間となり、賑わいがワンフロアに留まらず、施設全体に波及します。
- ・また、一体空間でありながら、各フロアの高さの違いによって、緩やかに分節されるため、利用者が目的に合わせて居心地の良い居場所を選ぶことができる空間構成とします。



### 5 仕上げイメージ

#### 「富士ヒノキ」が映えるメリハリのある仕上げ

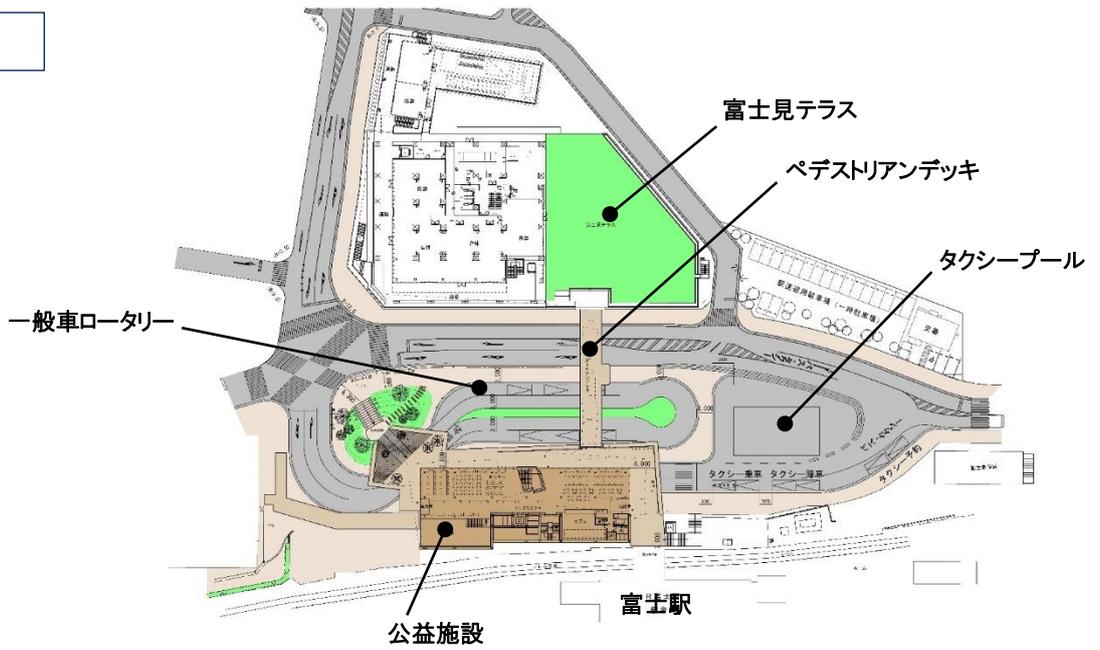
- ・各スラブの天井を地場産木材である「富士ヒノキ」で仕上げることで、明るく軽やかな紙の重なり合うような風景を実現します。

## 6 パース図

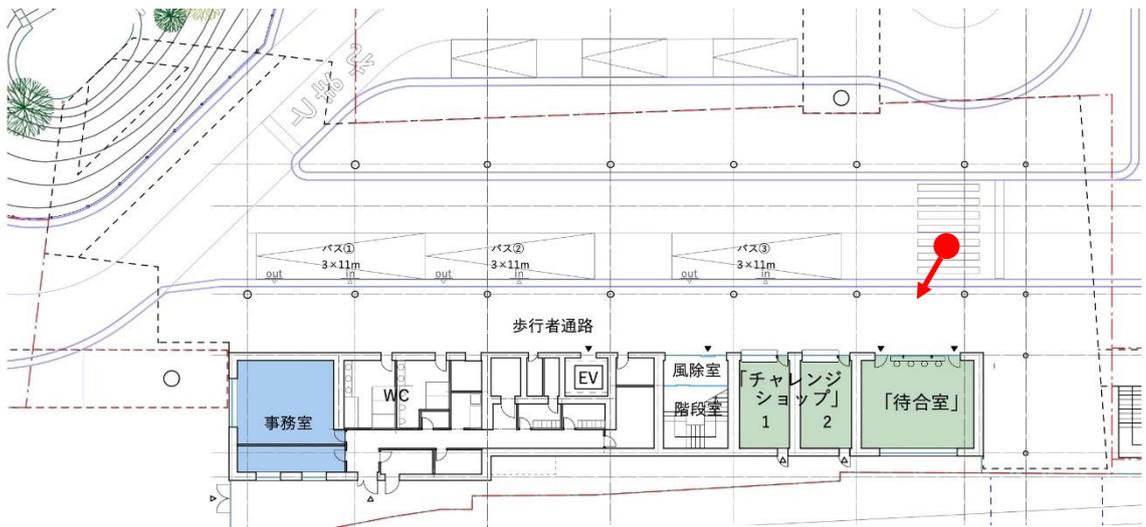
### 外観図



# 配置図



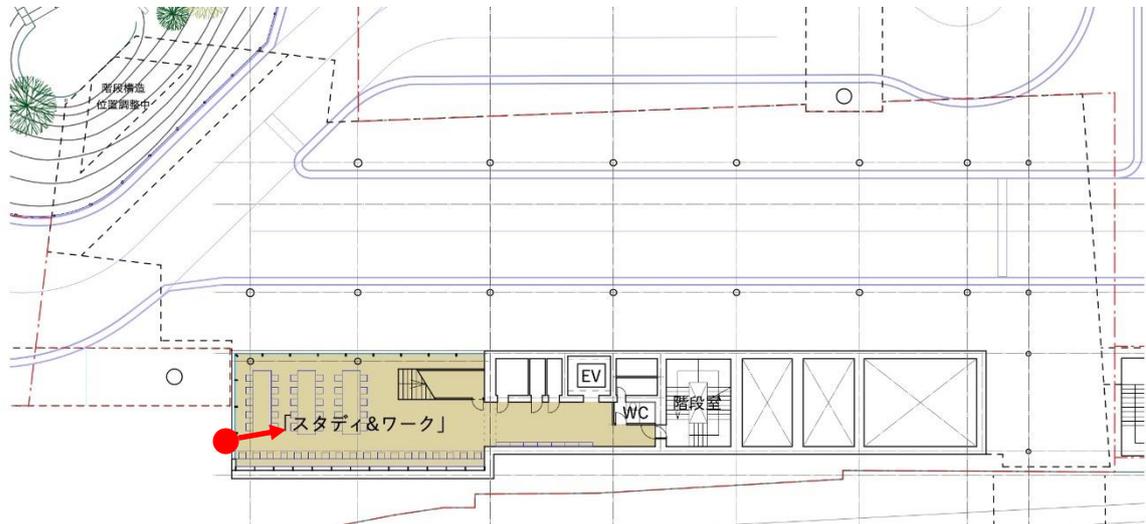
# 1階



待合室・チャレンジショップ



## 1.5 階

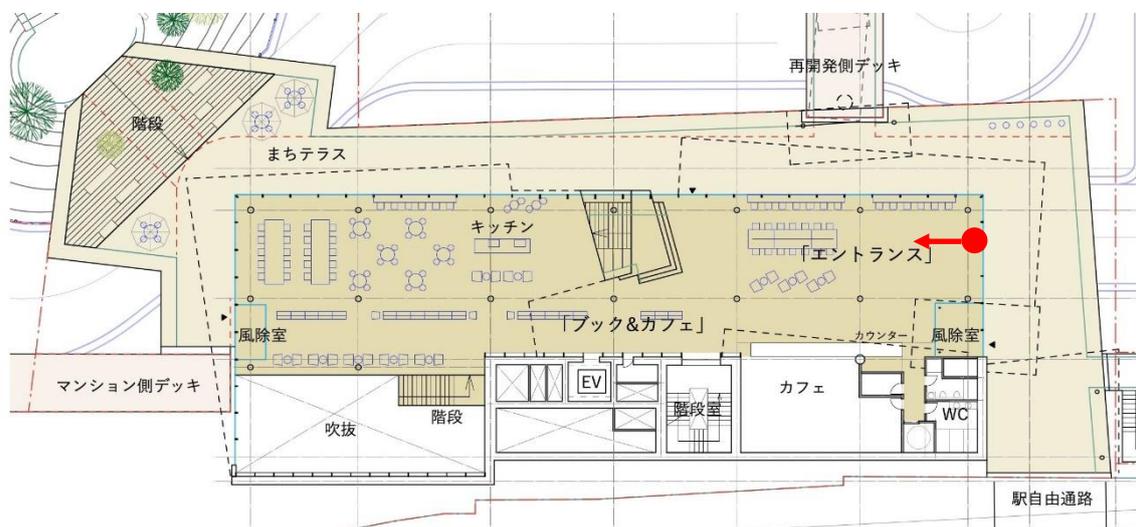


スタディ & ワークスペース



## 2階

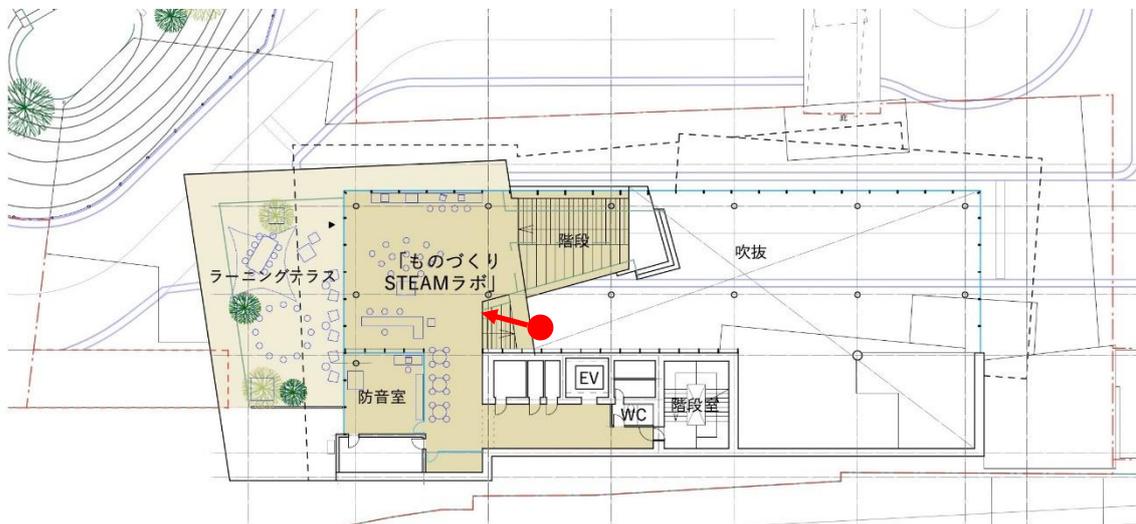
## (駅舎改札フロア)



## ブック&カフェ



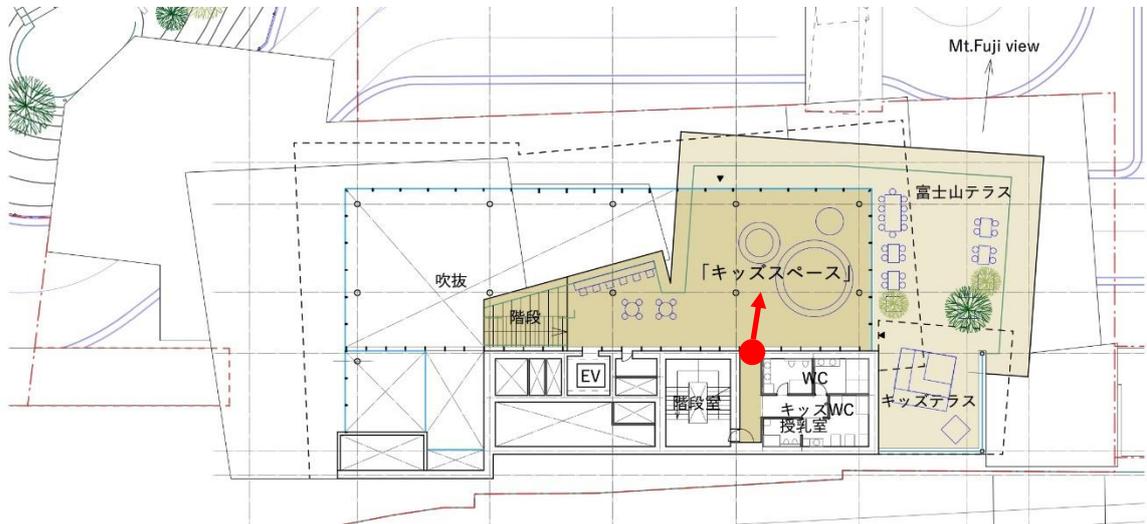
## 2.5 階



ものづくり STEAM ラボ



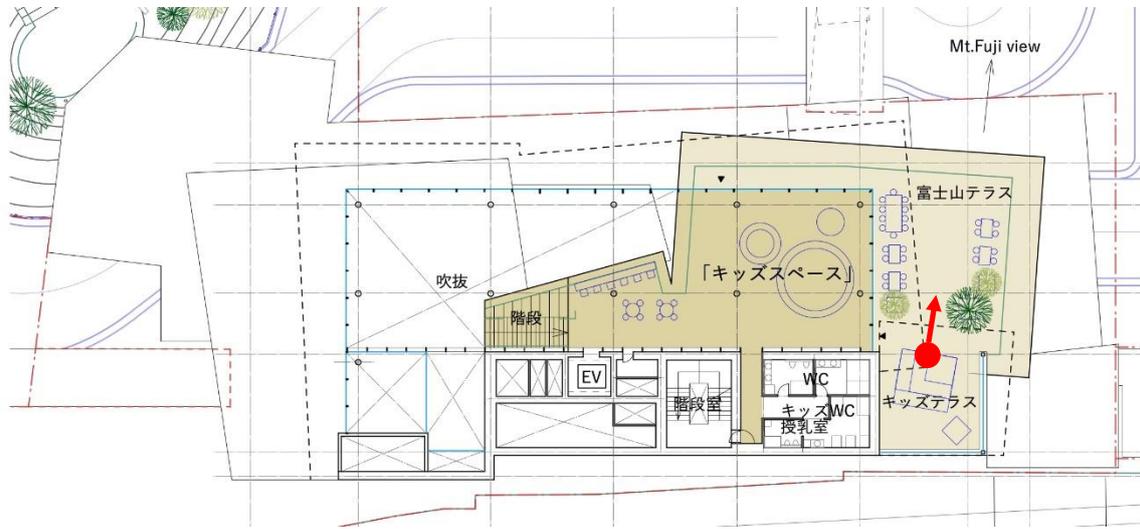
### 3階室内



キッズスペース



### 3階テラス



富士山テラス

